



# 主体性が培われる 対話の場づくり

## 「地域デザインの学校」の実践

---

NPO法人ドネルモ





# 地域デザインの学校 概要

# 地域デザインの学校とは…



## 地域の「支えあいのかたち」を豊かにするプロジェクト

- ① 地域に馴染みの薄かった人々と、既に活動をしている人々が学びあう場を通じて、
- ② 「やりたいこと」や「興味のあること」から地域での活動を生み出し、お互いにつながりながら
- ③ 「支え合いのかたち」を豊かにしていくプロジェクト



# 地域デザインの学校の実施プロセス

## Step.1

### ヒアリング/掘起し/人集め

- 対象校区周辺の様々な方にヒアリング
- 地域の方々との関係づくり
- 講座の受講生募集

### 校区選定

地域への説明

### 事前調査・ヒアリング

ヒアリング調査

人材、事業者等の掘り起こし

### 広報、会場調整

広報（市政だより、WEB、SNS等）

## Step.2

### 講座の実施

- 地域活動の担い手づくり
- 担い手のための場づくり

### 講座の運営

講座の企画・策定

講座運営

ふりかえり実施



## Step.3

### アフターフォロー

- 講座修了後の活動を支援
- 地域の活動へとつなぐ

### アフターフォロー

関係機関への取次

個別フォロー

全体フォロー



# 地域デザインの学校の講座スケジュール

第1回

第2回

第3回

補講 (任意)

第4回

## 入学式 オリエンテーション

地デザ説明 & 自己紹介

## できることシェア



## ファシリ体験



## ケースワーク

地域の課題と企画作りを  
想定したケースワーク



## チームづくり 企画づくり

やりたい事を基にした  
チーム結成と企画の具体化



## 企画づくり

企画の具体化



## 企画発表



## 意見交換

地域や事業者の方と意  
見交換・交流



## これからのこと

卒業後の活動について  
考える

# 5年間(2014~2019.11)で福岡市内外19地域にて開催

## ■福岡県

### □福岡市

- ①東区 千早 : 2014.9~2015.1
- ②南区 西長住 : 2015.6~11
- ③中央区 簗子 : 2015.9~2016.3
- ④西区 西都 : 2016.6~11
- ⑤東区 照葉 : 2016.10~2017.1
- ⑥早良区 有住 : 2016.12~2017.3
- ⑦東区 香椎 : 2017.5~8
- ⑨南区 大橋 : 2017.9~10
- ⑩西区 下山門 : 2017.10~12
- ⑫城南区 七隈 : 2018.2~3
- ⑯南区 野間 : 2019.1~3

### □大牟田市

- ⑧2017.6~8
- ⑬2018.6~8

### □香春町

- ⑰2019.8~10



## ■山口県 □防府市

- ⑭2018.10~12
- ⑱2019.11~2020.1

## ■大分県 □大分市

- ⑪荷揚・中島・住吉 : 2017.12~2
- ⑮鶴崎・三佐・別保 : 2018.12~1
- ⑲大在 : 2019.11~12

## 主な実施依頼主

- ・行政 (市民活動、福祉、まちづくり等)
- ・自治協議会 ・公民館
- ・商店連合会 ・大学 (研究室)
- ・中心市街地活性化協議会
- ・医療/福祉事業所

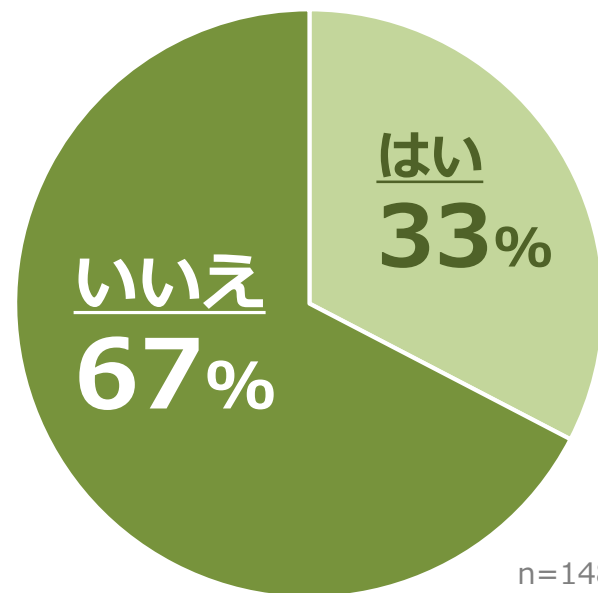


## 事業の成果 地域活動に関わりの薄い層からの参加

### 受講生の特徴（H26.4~H30.3）

- ◆ **受講生総数320名**
- ◆ **約7割が既存の地域活動への関わりが希薄**  
「地域活動に関わりの薄い層」からの参加多
- ◆ **10代~80代までの多世代が集う場**  
30代~40代が57%
- ◆ **属性が多様**  
サラリーマン、自営業者、主婦、福祉関係者、自治協関係者、定年後の方、学生…等
- ◆ **地域と関わるきっかけを求めて**  
受講理由の多くは、明確な目的意識ではなく、「地域と関わりたい」等漠然としたものが多数

地縁活動  
(自治会・子供会・PTA等)に  
参加していますか？



※受講生へのアンケートより

# 多様な属性の人が参加

地縁組織	医療・福祉	事業者
<ul style="list-style-type: none"><li>自治協議会役員</li><li>自治会役員</li><li>青少年育成連合会</li><li>子育てサポーター</li><li>PTA役員</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>看護師</li><li>ケアマネージャー</li><li>高齢福祉施設</li><li>障がい福祉施設</li><li>作業療法士</li><li>社会福祉士</li><li>社会福祉協議会</li><li>いきいきセンター</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>学習塾経営者</li><li>飲食店経営者</li><li>会社員</li><li>行政書士</li><li>個人事業主</li><li>WEB・DTPデザイナー</li><li>マスコミ</li><li>広告</li><li>不動産</li><li>建築士</li><li>まちづくり会社</li><li>NPO団体職員</li><li>保育士</li><li>商店街</li></ul>
地域住民	行政・教育	
<ul style="list-style-type: none"><li>主婦</li><li>シニア世代</li><li>高校生</li><li>大学生</li><li>公民館サークル講師</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>スクールソーシャルワーカー</li><li>小中学校・大学教員</li><li>地域おこし協力隊</li><li>都市計画</li><li>施設管理</li></ul>	



# 卒業生の活動例：樋井川テラス（旧：上長尾テラス）



## 樋井川 テラス

2015.2~

- 第2期：南区西長住校区
- 名店街の空き店舗をDIYして、地域のたまり場に
- 2016年7月オープン。名店街と協働して助成金も獲得
- 自治会関係者など地域の人と一緒に運営方針を相談
- カフェ、レンタルスペースを兼ね備える

# 卒業生の活動例：下山門二丁目きれいなプロジェクト



子供広場  
ワイワイ  
プロジェクト  
～2丁目は  
大きな家族です～  
2017.10～

- ・ 福岡市西区下山門
- ・ 地域住民(役員)や介護施設職員、地域包括センター職員、防災士などからなるメンバー
- ・ 清掃活動などを通じて、世代を超えて困った時に声を掛け合える町内にすることを旨とする
- ・ イベント当日は、地域の住民や子どもたち、介護施設の利用者と職員も参加
- ・ 資源回収の手伝いとゴミ拾いをしながら交流を深める

# 受講生の約9割(87%)が行動変容&地域への波及効果

受講生

活動者：**305**人  
(受講生：320人)

自治協等の地縁組織  
に加入した受講生：**10**人

地デザへの協力者

ヒアリング協力者：約**280**人 卒業式意見交換協力者：約**420**人

企画への協力者

卒業後立ち上がったチーム数：**73**チーム 活動実施数：**105**回

受講生以外の活動協力者：**210**名

活動の受益者

イベント参加者等：約**6,650**名

## 地域デザインの学校は…

自分の暮らす地域のことをめぐって

**気兼ねなく、話をする**

**何か始めるきっかけを探す**

**つながりをつくる**

**実際に何かをはじめてみる**

**「学びあいと実践の場」** です。





# 「対話の場づくり」のポイント ～主体性が芽生えるところ

話し合いをする上で、大切なこと

大切にしたいのは「対話」

## 議論

会社など日頃の肩書・立場をもとにテーマについて意見をぶつけ合い、結論・答えを出す

## 対話

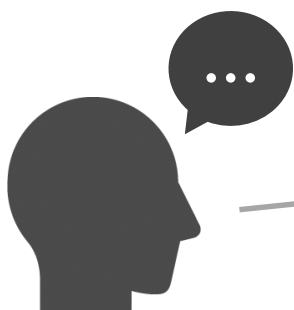
テーマに対し、ルールのもとに、それぞれの意見を聴きあうことで気づき、相互理解を深める

## 雑談

何かを生み出す目的も、テーマもやり方も設定せず話す（その場任せ）

## 潜在化している声・力に注目する

# 発言しやすい場とは？：「安心感」のある場



### 発言しない人って…

- ・意見がない・やる気がない
- ・考えていない

本当に？



頭の中  
では…

「こうしたらいいのに」  
って思うけど…

私は詳しくないから  
批判されたら嫌だな

できることなら  
手伝ってもいいんだけど…

「手伝う」と言って  
仕事が増えたら、  
負担だな

# 「つながり」への第一歩としての「対話」

話したい…  
参加したい



- **可能性**や**やる気**が表に出てこず、**潜在化**している

## 対話の場づくり (ファシリテーション)

- **安心感**を与える
- **発言**を引き立てる
- **発言**を後押しする
- **テーマ**に適った**対話**をする

話せる！  
参加できる！



- **安心して発言**でき、**試行錯誤**ができる
- 対話の**参加者**と共に**気づき**を持ち寄り、**問い**を深められる

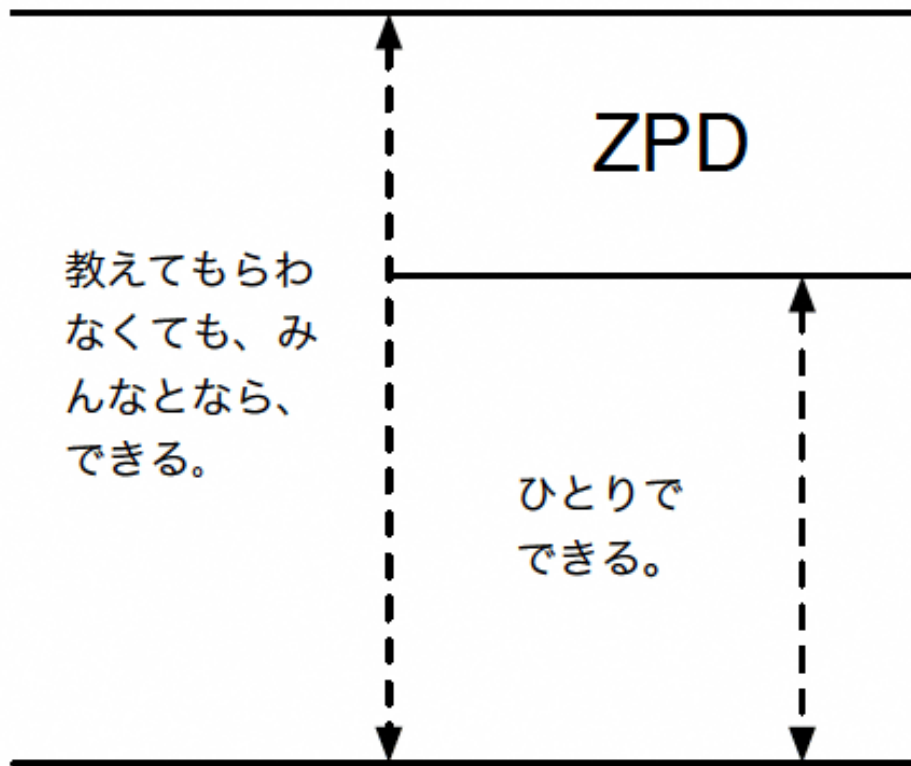


協働学習：「できるかも！」を醸成するために

# 協働学習

- 「やりたいこと」や「できること」を、  
人との関わりの中で引き出す
- 「何かを始めたい」と思っている人の  
背中を誰かが押すきっかけをつくる

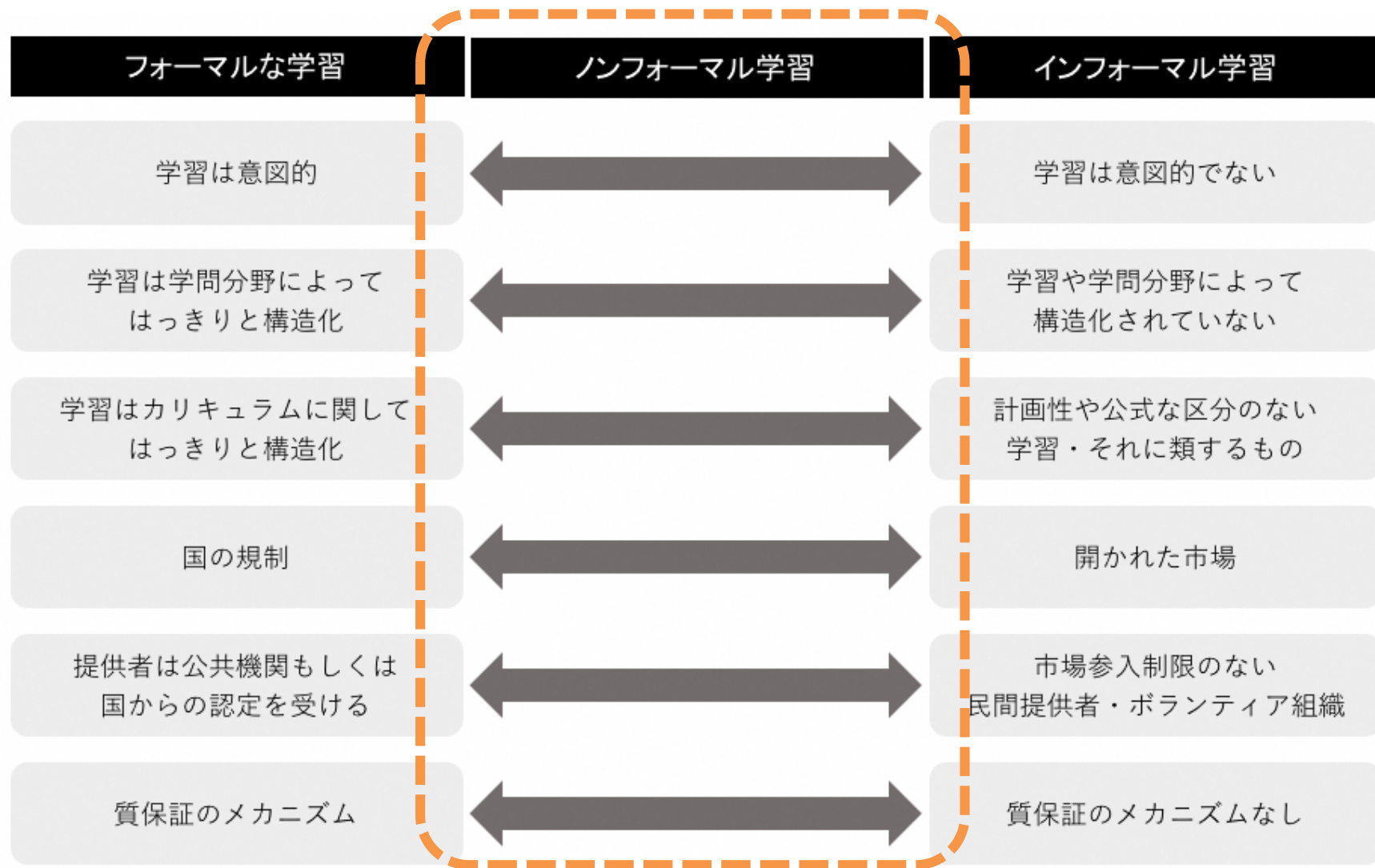
## 協働学習：理論的な背景 ヴィゴツキー「発達の最近接領域」



**可能性**というものは、  
1人の人間の中にもともと備わったものではなく、  
「**あの人とだったらできるかも**」  
「**この場でならできるかも**」  
といった具合に、  
**その人が置かれた状況の中で生まれるもの**

Figure: Original by Mitzub'ixi Quq Chi'  
ZPD, Zone of Proximal Development, зона ближайшего развития.  
L.S. Vygotsky: Mind in Society: Development of Higher Psychological Processes, p. 86, Cambridge, Mass.: Harvard University Press.

## 参考資料：地デザは“ノンフォーマル学習”



「教育」ではなく、「学習」を支援する

## 学習

- 受講生が「学ぶ」 = 学ぶ人が主体的

## 学習支援

- 答えを教えるのではなく、  
「やってみよう！」と思ってもらおう
- 受講生同士の学び合いを促し、  
対話やふりかえりでの意味付けを手伝う